

丸山台集会所、定員75名に女性用トイレ1基



露口哲治 (自民党小金井)
市内には丸山台、三葉、友愛、桜並、天神前など、小規模だが使い勝手のよい集会所が数か所ある。丸山台集会所は、町会、子供会、敬老会などの諸催事で前原町の人口約1万4千人の半分が利用する施設である。坂下の市域は野川地区と称され、自然環境は恵まれているが、施設

約6千人の市民利用施設に女性用トイレは1基のみ

ついでの見解を求める。**市民部長** 丸山台集会所の建設時期は、同規模施設の中では一番古い時期に当たる。収容可能人数や部屋数などを勘案すると、要望は理解できる。しかしながら、大規模な工事となるため、市財政等を考慮し、集会所の維持管理や、修繕を計画する際の参考とする。

況も、同規模施設と比較して半分以下である。地域要望として、最優先でトイレの増設を願う。また、同様施設と比較して、施設の建設時期、トイレの状況に



消防団員確保策と障がい者総合支援法の今後



鈴木成夫 (市議会民主党)
①消防団員の確保策は。障がい者の社会参加について。今後の対応を伺いたい。また、支援が必要な児童を保育園の入れで、消防団活動の地域貢献実績を加算項目としている。**市長** 職員採用条件とするかどうかは難しいが、団員となつて得るものがたくさんあることを強調し、職員に協力してもらえよう努力したい。

人に変更し、現在の利用者は20人。第2土曜日にも開所し、相談事業を始めた。**総務部長** 市の身体障がい者雇用は14人で雇用率は2・33%。子ども家庭部長 公立保育園では児童を觀察し、支援が必要な場合は保護者の理解を得ながら必要に応じてきりぎりす。

に、第二庁舎1階に障害者就業支援センターを開設し、平成24年度実績では、一般就労17人、福祉的就労は1人。さらにでは、今年4月から定員を15人から21



地域防災の要となる消防団は団員の確保が大きな課題です

新しい読書の楽しみ方 ビブリオバトルを紹介



宮下 誠 (公明党)
ビブリオバトルの邦訳は知的書評合戦で、「自分が読んで面白かった本を持ち寄り、人に勧めること」でコミュニケーションを深める」という読書を楽しむための新しい形である。(ア)他市の取組を参考に行ってみてはどうか。(イ)図書館や小中学校で積極的に行っているかどうか。

だが、現在、同センターの若者コーナーと共催事業を検討している。ビブリオバトルは普及委員会があり、指導を受けられると聞いている。研究したい。

生涯学習部長 (ア)ビブリオバトルは、図書館の世界でも注目を集めている事業。対象も小学生から大人まで幅広く、まさしく読書の喜び、楽しみを広く多くの方々と共有できる事業だと認識している。今後、先進市を参考にして、本市でも研究を進めていきたい。(イ)貫井北センターの図書館が開館したところ



若者が集う貫井北センター2階の若者コーナー

ひとり親家庭について



中根三枝 (自民党小金井)
ひとり親家庭とは、20歳未満の子を養育している家庭で、配偶者と離婚した方、未婚・非婚の方、配偶者が死亡・生死不明の方、配偶者から遺棄されている方、配偶者が長期海外にいる方、配偶者が長期海外にいる方、配偶者が長期海外にいるために働けないなど扶養が受けられず支援が必要な家庭である。

者403人中356人が離婚を理由としている。(イ)正確に算出するのは難しいが、都の平成24年の調査では24・1%であり、平成19年の21・2%より増加している。

都内のひとり親家庭は平成23年には17万世帯だった。(ア)本市の離婚によるひとり親家庭の世帯数は、(イ)養育費を受け取っていない世帯数は、(ウ)都の面会交流支援事業の内容は、(エ)子が育つた後の寡婦に対するサポートは、**子ども家庭部長** (ア)世帯数の正確な把握は困難だが、平成26年5月現在、児童扶養手当受給

武蔵小金井駅周辺の大型開発はやめよ



関根優司 (日本共産党)
庁舎建設は、建築物価高騰のため着手の是非を検討しているという状況にある。第2地区も税金を投入できる状況ではない。第2地区は市役所を入れることが前提で採算が取れたはずだが、市役所なしで6百数十戸の保留床を本当にさばれるのか。採算が取れる理由が分からない。駅

北口も、タワービルを2本建設するというのが話になってくると、15億円を要する南口第2地区と同じような市負担となる。市は今、到底そのような負担ができる財政状況にはない。建築物価高騰の問題はオリンピックまで続くと言われている。市の財政を考えたなら、少なくともオリンピック後に計画を考え直し、今

の計画は全て凍結・中止するというのが当然の結論である。**まちづくり担当部長** 第1地区、第2地区と、南口トータルでの整備により効果は一層高められる。市はこの第2地区の整備を早期に進め、併せて北口も整備することで、市民が安全かつ安心して利用できる活力の拠点として街並みが整備できると考えている。

子どもたちの携帯電話等にフィルタリングを



遠藤百合子 (自民党小金井)
①子どもたちの携帯電話・スマートフォンでのセーフティ環境を整え、コミュニケーション環境の犯罪被害防止のためにフィルタリングを。(ア)各校の取組は。(イ)小金井警察署との連携は。(ウ)周知徹底についての考えは。**学校教育部長** (ア)サイバー犯罪防止のテーマ等のセーフティ

教室を実施。生活指導主任研修を予定。(イ)警察署の方の参加によるセーフティ教室を実施。(ウ)フィルタリングを呼び掛けるリーフレットや小冊子を配布し、学級活動等の時間で指導する。

②新たに配布された「私たちの道徳」の活用方法と現状は。**学校教育部長** 校長会や道徳教育推進委員会が周知し、道徳以外にも教育活動全体で活用。**教育長** 大人は家庭、地域、学校で自信を持って正しい価値観を子どもたちに伝えていく必要がある。各学校において、道徳教育の一層の充実に努めたい。